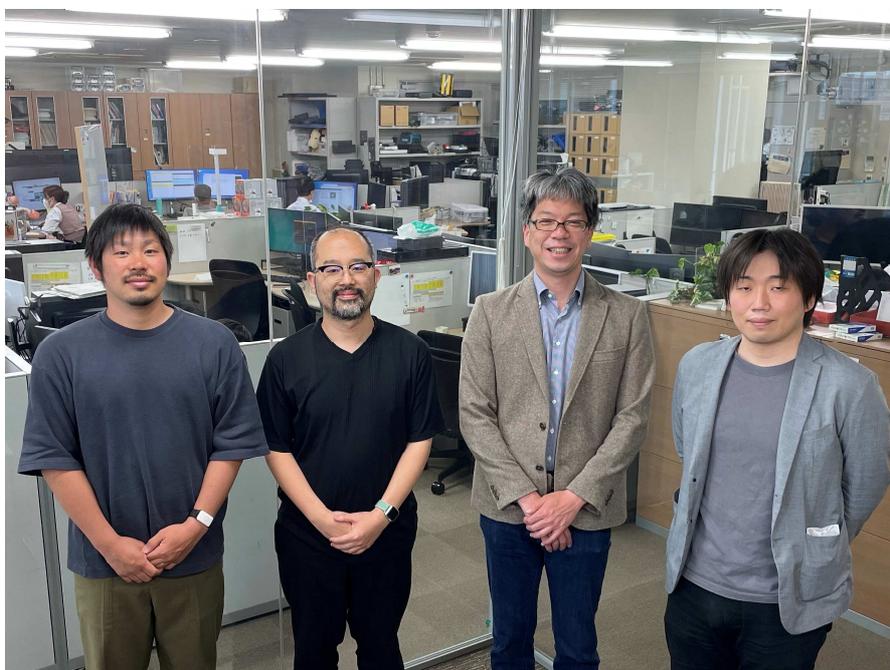


## Biodata Bank 株式会社と神戸大学による 「深部体温推定」に関する産学連携プロジェクトが始動

Biodata Bank 株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役:安才武志)と国立大学法人神戸大学・科学技術イノベーション研究科の川口博教授・和泉慎太郎准教授(以下、神戸大学)は、Biodata Bank 株式会社が開発する体温を中心とした生体データを収集するセンサー技術に関する、「深部体温の推定」に関する産学連携プロジェクトを、2022年4月より神戸大学産官学連携本部(本部長:河端俊典)の協力により開始します。



### ■Biodata Bank 株式会社

Biodata Bank 株式会社は体温を中心として生体データを収集するセンサー技術を開発している企業です。

体表のさまざまな部位から深部体温(\*1)を推定する技術を用いた、熱中症を未然に検知するリストバンド型のウェアラブルデバイス「熱中対策ウォッチ カナリア(\*2)」を展開しています。

#### \*1:深部体温

体温は大きく分けると、表面の温度(表面温度、皮膚温度)と深部体温(中核温度、核心温度)に分けられます。

表面温度は外気温や環境状態によって大きく変動しますが、深部体温は体温調節機能により通常は一定のリズムによって変化しています。深部体温は生命の維持や生体の状態を示す重要な指標ですが、既存の測定方法では病院で利用される医療機器に限定されており、日常生活で気軽に測定する方法はまだ確立されていません。

深部体温の変動がわかると、熱中症の予防や発熱の検知、運動パフォーマンスの最適化、基礎体温の変化などを確認していくことができるようになります。

**\*2:熱中対策ウォッチ カナリア**

特許取得済技術により、熱中症のリスクが高くなる前にアラートを発することで、休憩や水分補給を行う目安として使用する製品です。熱中症の要因となる深部体温の上昇や変化を検知し、アラーム と LED 表示でお知らせします。一度入電すれば夏の暑い時期となるワンシーズン（3～4ヶ月間）利用可能で、老若男女問わず使いやすい製品です。

**■プロジェクトの期間**

2022年4月1日 から 2023年3月31日 まで（1年間）

**■背景**

Biodata Bank株式会社が開発した原理モデルにて、人体の四肢においても深部体温の測定・予測が実現可能であることを確認されております。一方で、より高精度な脈拍測定技術および低消費電力（低発熱）技術の活用が求められており本プロジェクトを開始しました。

**■プロジェクトの概要**

より高精度な脈拍測定技術および低消費電力（低発熱）技術を実現するため、Biodata Bank 株式会社の開発技術やその課題について、学術的知見をもって課題解決を図ります。

Biodata Bank 株式会社が神戸大学と産学連携プロジェクトを行うのは今回が初めてとなります。

**■Biodata Bank 株式会社 概要など**

社 名	Biodata Bank 株式会社	代 表 者	代表取締役 安才武志
所 在 地	東京都渋谷区鶯谷町15番10号	設 立	2018年4月
事 業 内 容	製造業		
問 合 せ 先	本プレスに関するご連絡先： 広報担当 今井 Mail： info@biodatbank.co.jp [Tel： 03-6416-4924]		

**■本件に関する神戸大学の問合せ先**

問 合 せ 先	株式会社神戸大学イノベーション 技術移転部 Mail： icd-info@silver.kobe-u.ac.jp [Tel： 078-803-6649]
所 在 地	兵庫県神戸市灘区六甲台町1番1号

以上